

学校だより

前期学校評価特別号

令和6年9月6日(金)

野々市市立野々市小学校



学校評価に関するアンケート結果の報告

7月に保護者の皆様には「学校評価に関するアンケート」に、ご回答をいただきありがとうございました。このアンケートは、保護者の皆様、児童、教職員のそれぞれに対して行っています。その結果を分析・考察することで、さらによりよい学校づくりに生かしていきたいと思っています。
★は児童アンケートにおける令和5年度後期学校評価との比較です。

◎:よい ○:ややよい □:同程度 △:ややよくない ▲:よくない

評価内容		A	B	C	D	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1 児童	授業がわかる	56%	36%	6%	2%	56%	36%	6%	2%	56%	36%
2 児童	自分の学び方について、ふり返りをしている。	37%	45%	14%	4%	37%	45%	14%	4%	37%	45%
教職員	重点1に基づいて児童が学び方を意識できるように工夫している。	20%	76%	2%	2%	20%	76%	2%	2%	20%	76%
3 児童	自分で課題や学び方を決めて、授業に取り組んでいる。	48%	36%	11%	5%	48%	36%	11%	5%	48%	36%
教職員	重点2に基づいて児童に学習を委ねる場の工夫をしている。	20%	62%	16%	2%	20%	62%	16%	2%	20%	62%
4 児童	授業でクロームブックを使って情報を集めたり、まとめたりしている。	70%	26%	3%	1%	70%	26%	3%	1%	70%	26%
教職員	クロームブックを活用して、考えを表現する授業を実施している。	2%	27%	57%	14%	2%	27%	57%	14%	2%	27%
5 児童	ゲー・ベタ・ピンで学習している。	26%	50%	18%	6%	26%	61%	18%	6%	26%	61%
教職員	授業で姿勢を見取り、ゲー・ベタ・ピンの声掛けを徹底している。	52%	43%	5%	0%	52%	43%	5%	0%	52%	43%
児童	自分からあいさつやえしゃくをしている。	59%	30%	8%	3%	59%	30%	8%	3%	59%	30%
6 保護者	お子さんは自分から大人(家族や見守り隊、バスの運転手、地域の人等)にあいさつしている。	30%	49%	18%	3%	30%	49%	18%	3%	30%	49%
教職員	教師が児童・来校者に対して自分からあいさつしている。	67%	29%	4%	0%	67%	29%	4%	0%	67%	29%
7 児童	うろかは走ら、右側を歩いている。	52%	39%	6%	3%	52%	39%	6%	3%	52%	39%
教職員	廊下を走っている児童を止め、歩くよう指導している。	69%	27%	4%	0%	69%	27%	4%	0%	69%	27%
児童	友達をきずつけない温かい言葉で話している。	55%	36%	7%	2%	55%	36%	7%	2%	55%	36%
8 保護者	お子さんに温かい言葉で接している。	32%	60%	7%	1%	32%	60%	7%	1%	32%	60%
教職員	児童に対して丁寧な言葉を意識して話している。	54%	42%	4%	0%	54%	42%	4%	0%	54%	42%
児童	シャツを入れ、ズックをはいて、身なりに気をつけている。	78%	16%	3%	3%	78%	16%	3%	3%	78%	16%
教職員	身だしなみ(シャツイン、ズックのかかと入れ)を見逃さず指導している。	56%	42%	2%	0%	56%	42%	2%	0%	56%	42%
児童	係や当番、委員会などの仕事に、自分から進んで取り組んでいる。	63%	31%	4%	2%	63%	31%	4%	2%	63%	31%
教職員	児童が学校や学級をよくしようとしている姿(係、当番、委員会、クラブ、友達へのかかわり、お手伝い等)を見つけて、ほめている。	65%	31%	4%	0%	65%	31%	4%	0%	65%	31%
児童	学校は楽しい。	61%	27%	8%	4%	61%	27%	8%	4%	61%	27%
保護者	お子さんは、楽しそうに学校に通っている。	63%	32%	4%	1%	63%	32%	4%	1%	63%	32%
12 児童	自分にはよいところがあると思う。	57%	28%	9%	6%	57%	28%	9%	6%	57%	28%
13 保護者	お子さんは朝ご飯を食べている。	55%	43%	2%	0%	55%	43%	2%	0%	55%	43%
14 保護者	学校は、学校だよりや学校公開等を通じて、「地域と共にある学校づくり」に努めている。	32%	60%	7%	1%	32%	60%	7%	1%	32%	60%

A あてはまる
B だいたいあてはまる
C あまりあてはまらない
D あてはまらない

★	取り組みについて
-	どの子も「わかった!」できた「がんばれた!」という満足感や充実感がもてるように、1時間1時間の授業のねらいを明確にし、授業終末に到達してほしい児童の姿を具体的に想定し授業に取り組んでいきます。
/	「ノートレベルアップの取組」を通して、学習内容についてだけでなく、児童が自分の学び方や調べ方等についての視点を取り入れたふりかえりに取り組んでいきます。
\	児童の「どうしてかな」という問題意識をもとにして授業を行ったり、問題を解決するための見通しがもてる学習計画を作り行ったりして丁寧に学習を進めています。 児童が主体的に授業に取り組むことができるよう、児童自身が調べ方や学び方を選択する場面を設けていきます。
△	1学期に行った取り組みに加え、2学期以降も、学習に効果的なクロームブック活用方法を考えながら学習を行っていきます。
-	ゲー・ベタ・ピンとは授業中の姿勢を表す学校の中での言葉です。 ゲー:机と体の感覺が握りこぶしつ分 ベタ:足の裏を床につける ピン:背筋をのばす 2学期始業式の場でよい姿勢に対する意識を高め、学期開始3日間、重点的に取り組んでいく。特に、学習のスタート時や活動の切り替え(特に書く活動)の前に、確認する声かけを行っていきます。 また、運動会練習や社会科見学等での話を聴く場を通して、全職員で聞く指導を継続し、よい児童の姿を挙げて褒めています。
-	日々の生活中で、あいさつをしたという実感を積ませる働きかけとして、生活目標の取り組みを行い、あいさつの習慣化を1学期に引き続き目指しています。
○	廊下を走ってはいけないと分かっていてもついつい走ってしまう児童に ①止める ②指導する ③見届け、褒める の順で、教職員全員が足並みをそろえて指導を行っていきます。
-	温かい言葉で話すことができない児童の固定化が見られるので、個別指導を充実し、温かい言葉で話すことができない場面をふり返り、どうすれば温かい言葉を話すことができるのかを話し合い、具体的に「～のような言葉を使おう」などと提案していきます。温かい言葉で話すことができたときには、でききたことを評価し、あたたかい言葉遣いが継続できるように励ましていきます。
-	全教職員が常に服装について意識し、声かけを続けていく。教室、ろうかなどの声かけに加えて、全クラスで以下を徹底します。 ○安全帽…終わる会で、さよならの前に全クラス全員着帽で下校 ○ネーム…つけていない児童への声かけと注文促し ○シャツ…授業はじめでの授業者の声かけ ○ズック…止まつて直せる声かけ
-	1学期は、係ごとの打ち合わせの時間を定期的設け、見通しをもしながら活動に取り組み、集団のためにがんばるよい姿をその場で認め、褒めていくことで集団活動への主体的参加に効果が見られました。 1学期に引き続き、全校児童の前で表現できる場を活用することで、児童の満足感や達成感、自分達でよりよいものを創り上げていくという思いにつなげていきます。
-	日頃からの児童の言動や表情を観察し、教職員が児童からのサインを感じた時は、聞き取りと理解を迅速に行います。児童の悩みや不安、困り感に寄り添い、具体的な問題点を見つけ、改善策を共に考え、学年教師や必要に応じて全教職員で共有していきます。
-	学習や活動を通じた自分の成長の振り返りを行い、児童自身が成長を実感できるようにしていく。また、教師は児童と積極的な関りを持ち、できたこと(結果)やがんばったこと(経過)を時間で空けずに伝えていく。
/	児童ののぞましい生活習慣が身につくように、ご家庭と学校とで連携した働きかけを共に行っていきましょう。今後も、学校だよりや学校ホームページによる情報提供、学校公開等を継続していく。なお、2学期からは、便りのメール配信への切り替えを順次行うことで、確実に保護者の皆様に届くように取り組んでいきます。 また、安全な学校づくりのために2学期からは、来校の際、名札着用(学校より配付)提示を保護者にお願いします。